

道徳科学習指導案

授業日時 平成30年9月11日(火)第1校時
 授業学級 2年D組 野 20名 好 20名 計 40名
 授業会場 2年D組
 授業者 _____
 指導教員 _____

1 主 題 名 「どうしたらいいの… ～みのりさんの悩み～」(2年)

(内容項目B-(9) 相互理解, 寛容)

2 主 眼

資料「どうしたらいいの…～みのりさんの悩み～」を読み, どうしたらのどかさんと気まずい関係にならずに注意することができるか考える場面で, 相手を嫌な気分させない言い方を考えることを通して, 相手の気持ちを考えながら自分の言いたいことを伝えようとする実践態度を養う。

3 指導上の留意点

- ・みのりさんに自分を重ね合わせて考えられるように, みのりさんの気持ちになって考えるよう促す。
- ・グループでの活動を設けることで, 全員が自分の考えを表現できるようにする。

4 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	支援 (・) と評価 □	時間
導入	1 言葉の伝え方, 捉え方の違いで傷ついたり傷つけられたりした経験を語り合う。【個人・全体】	◎危険であることを伝えたくてとっさに言葉を発したけど, 言葉が足りなくて相手を怒らせてしまったことがあるな。 ◎言われたときはとても悲しい気持ちになったけど, 本当はそんなことを言いたかったわけじゃなかったのかもしれない。 ◎あ のとき, あのような言い方だったから私は傷つかなかった。 ◎この表現をしたら相手が嫌な思いをすと思うから違う表現の仕方 で伝えた。	・パワーポイントを用いて, 言い方次第で相手の捉え方が変わる場面を示し, 同じような経験はなかったか問いかけることで, 言い方一つで異なる捉え方になった経験を想起することができるようにする。	10
展開	2 資料を読んで, なぜ『私』はのどかさんがぶんぶんしてしまう」と思ったのか考えて発表する。【個人・全体】	◎みのりさんとのどかさんは幼なじみで仲良しなんだな。 ◎のどかさんはわがままやかるはずみなことを言ったりして友達を困らせてしまう癖がある。 ◎のどかさんの癖に対してみのりさんは「注意しなければならぬ」と思っている。 ◎のどかさんの癖を注意することができない。 補助発問: 『私』はなぜ, 「そんなことをしたらぶんぶんしてしまう」と思ったのだろう。	・資料を範読し, 資料の登場人物の確認をすることで, のどかさんの癖に対してみのりさんが抱いている思いを考えることができるようにする。	10
	3 「私」は, どうしたらクラスがバラバラにならず, のどかさんとも仲良しでいられるか考え, 発表する。【個人・グループ・全体】	◎注意されている気分になる人はいないだろうなと思ったから。 ◎「ちょっとひどいじゃない」「冗談はやめなよ」という言い方だと怒りを買えそう。 ◎楽しく下校しているのに注意したら気分が悪くなるだろうと思ったから。 ◎仲の良い友達に注意されてるのは裏切られたような気持ちになるのではないかと思ったから。 中心発問: 自分がみのりさんだったら, のどかさんに何と声をかけるだろうか。	・導入で『言い方の違い』で相手を嫌な気分させてしまうことがあるということも考えたね」と問いかけることで, 『私』が伝え方によって相手が嫌な気持ちになってしまうということを心配していると考えられるようにする。 ・『私』はのどかさんにどのように声をかけたらいい?』と問いかけることで, 相手を傷つけずに自分の考えを伝える方法を考えられることができるようにする。 ・グループ内で発表しあい, どのような言い方がいいかグループ内で考え発表する活動を設けることで, どのような表現がいいのか感じることができるようにする。	20

			<p>相手の気持ちを考えながら自分の気持ちを伝えることができたか、学習カードの記述や発表から評価する。</p> <p>・「どういうことを言われたら嫌な気持ちになるかな」と問いかけることで、相手のことを考えながら自分の想いを伝えることができるようにする。</p>	
終末	4 本時の学習から感じたことを書く。【個人・全体】	<p>◎自分の考え方や相手の捉え方が必ずしも同じではないから、相手に誤解を生まないようにしたい。</p> <p>◎相手を尊重するのも大切だけど、自分の伝えたいことも大切にしたい。</p> <p>◎相手を不快にさせずに自分の考えを伝えられたらいいと思う。</p>	<p>・本時の学習から感じたことを、自分の体験と合わせて考えるよう促すことで、これからどのような言葉で気持ちや考えを伝えたらいいか考えることができるようにする。</p>	10

5 板書計画

自分がみのりさんだったらのどかさんに何と声をかけるだろうか。

・注意されているいい気分になる人はいないだろうなと思っただから。

・「ちよつとひどいじゃない」「冗談はやめなよ」という言い方はのどかさんを思いやれていないと思っただから。

・楽しく下校しているのに注意したら気分が悪くなるだろうと思っただから。

『私』はなぜ「そんなことをしたらぶんぶんしてしまっ」と思っただろうか。

『どうしたらいいの…』

↳みのりさんの悩み

主要登場人物

・みのりさん

・のどかさん

幼なじみで仲良し

・「みんな困っているよ。今なら許してもらえよ」と言う。

・「のどかさんこのままじゃ大変なことになっちゃうよ、いいの？」と問いかける。

・「すごく言いくいんだけと言っね」と前置きをしてから言う。